

## 入間市障がい者福祉プラン令和4年度取組状況報告書

## ●施設入所者の地域生活への移行者数

項目	人数	備考
令和4年12月31日時点の入所者数(A)	130人	令和4年12月31日の施設入所者数
地域生活移行者数	1人	令和3～令和5年度における施設入所から地域生活に移行した者の数

## ●福祉施設から一般就労への移行者数

項目	数値	備考
令和4年12月末の一般就労移行者数(実績)	15人	令和4年度において福祉施設を退所し、一般就労した人の数

## ●就労移行支援事業の利用者数

項目	数値	備考
令和4年12月末の就労移行支援事業の利用者数(実績)	76人	令和4年12月末において就労移行支援事業を利用した人の数

●基本方針1 健康とくらしをまもる施策重点課題(1) あらゆる障がい者に対応した地域包括ケアシステムの構築

施策1	地域生活支援の充実を図る
<b>◆令和4年度の取組み内容(結果)</b> (1)障がい者の地域生活支援の充実 「いるまぴあ」23回(見込)開催 利用者実数13名、のべ335名 「家族ぴあ」6回開催 利用者実数9名、のべ36名 (2)保健・医療・福祉関係機関の連携強化 精神保健福祉医療地域連携会議を年1回実施しました。	

「つながりを可視化！誰もが支援の中心になりうる～精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のために～」というテーマで Zoom 会議を実施しました。

事例報告とグループワーク、事例解説「アセスメント・介入のポイント」を実施しました。

(3) 支援が必要な障がい者への訪問等による把握と支援

地域生活支援拠点等事業の「相談」の機能における「緊急時対応のための利用登録書」の周知を市ホームページや SNS、相談支援事業所や地域包括支援センター、社会福祉協議会を通じておこない、ハイリスク支援者の把握を図ることができました。

精神保健福祉士と地区担当保健師が、各家庭を訪問し、精神保健に関する、社会復帰、アルコール、薬物、ギャンブル、摂食障害等の様々な相談に対応しました。

(4) 自立生活援助サービス体制の整備

個別支援会議等で自立生活援助の制度について説明し、周知を図りました。

(5) 地域移行支援・地域定着支援の利用促進

「入間市精神保健福祉医療地域連携会議」を令和4年10月20日にオンラインにて開催し、47機関80人の参加があり、地域移行・地域定着の事例報告や事例検討をおこないました。

(6) 日中活動の場の整備

重点課題(2) 地域で安心できる暮らしの支援

施策2	いざという時のための支援体制をつくる
<p>◆令和4年度の実施内容(結果)</p> <p>(1) 地域交流の促進 「誰一人取り残さない地域社会」を実現するために連合区長会との連携により各地域で継続した情報提供に取り組みました。</p> <p>(2) 避難行動要支援者避難支援制度の周知等や個別計画の策定・充実 個別支援計画の作成を促進するため、制度変更を行いました。 個別支援計画の作成件数が25件から158件になりました。</p> <p>(3) 地域の避難支援体制の整備 災害時の安否確認や避難支援、日頃からの顔が見える関係づくりなどに役立ててもらうため避難行動要支援者名簿を自主防災会に提供しました。</p> <p>(4) 防災訓練における避難支援訓練の実施 各自主防災会に防災訓練時に避難行動要支援者への安否確認を行うよう計画に取り入れました。</p> <p>(5) 災害に対する家庭での備えについての啓発 市公式ホームページや防災番組で防災に関する周知・啓発を行いました。 入間市防災ガイドブックの改訂版を全戸配布しました。</p>	

施策3	災害時に安心して避難生活を送るために
<p>◆令和4年度の取組み内容(結果)</p> <p>(1)備蓄品の充実、必要物資の調達ルートの確立          避難施設の防災備蓄物資の種類及び数量を増やし、避難施設の防災体制を強化しました。          老人福祉施設長会に参加する高齢者福祉施設(特別養護老人ホームおよびケアハウス)、グループホームと老人福祉センターに対し、書面にて訓練の実施状況や備蓄状況等の確認をしました。</p> <p>(2)障がい者の意見を反映するための体制づくり          防災会議を活用しました。</p> <p>(3)福祉避難所の指定を増やす          市内の福祉施設1か所と協定締結の予定です。</p> <p>(4)避難所開設訓練の実施          他市の避難所開設訓練の状況を研究しました。</p>	

基本方針2 地域で暮らしていくための支援  
重点課題(3)相談支援の充実

施策4	身近で利用しやすい相談のしくみづくり
<p>◆令和4年度の取組内容(結果)</p> <p>(1)相談支援事業の充実          障害者基幹相談支援センターが年10回相談支援事業所連絡会を開催し、意見交換や関係機関の情報共有等をおこなった。また、困難ケースの検討をおこなうことで、相談支援の質の向上を図ることができました。</p> <p>(2)入間市障害者基幹相談支援センターの活動の充実とネットワークの構築          障害者基幹相談支援センターによる福祉学習会をオンラインで開催をし、関係機関31人が参加した。教育と福祉の連携強化を図ることができました。</p> <p>(3)地域移行支援・地域定着支援の利用促進          「入間市精神保健福祉医療地域連携会議」をオンラインで実施し、45機関68人の参加があり、地域移行・地域定着の事例報告や事例検討をおこないました。</p>	

施策5	障がい児相談支援の実施
<p>◆令和4年度の取組み内容(結果)</p> <p>(1)入間市児童発達支援センターういずを中心とした関係機関の連携強化          医療的ケア児連携会議を10回開催し、入間市における医療的ケア児の支援体制の整備に向けて協議を行いました。</p> <p>(2)事例検討による相談支援の質の向上</p>	

障害者基幹相談支援センターが開催・主催した、事例検討やグループスーパービジョン、学習会等を通じて地域課題の抽出や情報共有等を行い、地域の相談支援の質の向上を図ることができました。

- (3) 支援が必要な家庭への訪問等による把握と支援  
専門職が支援の必要な家庭へ訪問し、支援を行いました。  
現状としては、相談があった際に対応している状況です。
- (4) 障がい児支援におけるワンストップサービスの充実

#### 重点課題(4) はたらく支援の充実

施策6	はたらくを支援する
<p>◆令和4年度取組内容(結果)</p> <p>(1) 入間市就労支援センターりぼんの充実 障がい者の一般就労、職場定着等の支援、現状の課題について、毎月就労支援センターりぼんと毎月定例会を開催し、意見交換や情報共有を行い、連携を図ることができた。また、市、基幹相談支援センター、相談支援センターりぼん、就労支援センターりぼんの意見交換等を毎月実施し、具体的事例を挙げ各関係機関の意見交換や各関係機関の役割に関する再確認を行うことができた。</p> <p>(2) 企業に対する障がい者理解及び障がい者雇用の啓発 就労支援センターりぼんが中心となり、企業や商工会、ハローワーク等の就労支援機関との情報交換・共有等を行いながら連携を図り、働く場の確保、拡大に努めました。また、令和4年12月3日(土)に第12回「障がい者のある人の“働く”を考えるつどい」を開催し、障害者及びその家族、また福祉、事業所、企業等の関係者が参加し、講話や事例発表、意見交換等を行うことで、障害者雇用の促進に努めることができた。</p> <p>(3) 就労支援の場の整備 就労移行支援事業所の新規開設においては相談があり次第、サービス内容や実績、運営方法等を十分に確認し、福祉的就労の場の整備に努めることができた。</p> <p>(4) 市における障がい者雇用の推進 入間市障害者相談・就労支援センターりぼんと連携し、新たに障がいのある職員を2人雇用しました。 入間わかくさ高等特別支援学校と連携し、インターンシップ実習生を受け入れました。</p> <p>(5) 障がい者施設等からの物品の等優先調達の推進 庁内に周知し、優先調達の推進を図りました。</p>	

基本方針3 障がいのある子どもとその家族への支援

重点課題(5) 障がいのある子どもとその家族への支援の充実と、共に学び共に育つ場の整備

施策7	子どもの育ちをみんなで一緒に支えていける支援体制の充実を図る
<b>◆令和4年度取組内容(結果)</b> (1)入間市児童発達支援センターういずを中心とした支援体制の充実 児童発達支援センターういず、障害児相談支援事業所、障害者基幹相談支援センター、自立支援協議会等と情報の共有を行い、連携の強化を図りました。 (2)障がい児やその家族に向けた早期発見、早期支援の充実 教育・福祉・保健の連携に伴うワーキングチームに参加し、また、教育センターと定期的な意見交換会を実施し、情報の共有や必要に応じて個別ケースの実際の支援を検討する等して、早期的包括的な支援につなげました。 (3)訪問支援体制の整備 医療的ケア児コーディネーター連携会議を10回開催し、情報共有や支援等について協議しました。また、災害時に適切な行動ができるように「災害時サポートブック」を作成し、重心児に配布しました。 保健師等の専門職が乳幼児健診や訪問の機会を通じ、障がい児の早期発見、早期支援に努めました。また、重症心身障がい児を把握した際には、早期介入に努め、適切な支援が受けられるよう関係機関へ繋げ、連携して対応しました。	

施策8	一人ひとりが違うことの素晴らしさを共に学ぶ保育・教育に取り組む
<b>◆令和4年度取組内容(結果)</b> (1)インクルーシブ保育・教育の充実 令和4年度職員配置・要加配児童入所状況 保育所加配職員数 49人 要加配児童数 64人(公立10施設) 今年も多くの配慮が必要な児童の受入れ及びきめ細かい保育が出来た。 (2)教職員研修の充実 通常学級における特別支援教育研修会と「特別支援教育基礎理解研修会」を年間で2回実施しました。各小中学校に1名以上の参加を呼びかけ、27校中25名が参加した。 障がいについての基礎理解や発達障がいに関わる支援について研修を進めました。 (3)心のバリアフリーの推進 感染症予防対策を講じながら特別支援学校からの支援籍の受け入れを行いました。各特別支援学校と関係小中学校の教師は支援籍実施前に、連絡調整等連携を丁寧に図りながら行うことができました。受け入れ側の小・中学校も温かく特別支援学校からの児童・生徒を受け入れ、お互いにとって望ましい交流となりました。	

基本方針4 生き生き暮らせるまちづくり

重点課題(6) 福祉意識の向上とボランティア活動の推進

施策9	障がい者福祉について関心や理解を深めるために
<p>◆令和4年度取組内容(結果)</p> <p>(1)障がい者理解のための講座等の推進</p> <p>統合失調症講座 「統合失調症の基礎知識～統合失調症は生活をしづらくさせる～」</p> <p>① 会場:10/12(水)参加者17名 ② 動画を申込者に限定配信:11/15(火)～11/29(火)参加者33名 視聴:前半編61回 後半編56回</p> <p>精神保健福祉講演会</p> <p>①「ここに寄り添うコミュニケーションを磨く～ゲートキーパー養成講座～」 会場:8/9(火)参加者18名 動画を申込者に限定配信:9/14(水)～9/28(水)参加者49名 視聴:前半編112回 後半編70回</p> <p>③「希死念慮がある方への相談支援スキルアップ講座」 動画を申込者に限定配信:2/21(水)～2/22(水)(見込み)参加者30名</p> <p>発達障害者支援事業講演会(年1回) 「ADHDの理解と対応について」 動画を申込者に限定配信:1/16(月)～2/12(月)(見込み)参加者30名</p> <p>こころの健康講座(随時) 精神疾患に関する講座は、(見込み)5か所で参加者のべ140名 精神疾患や発達障害の正しい知識の普及啓発を行うことで、早期治療や早期療育につながり、また講座の中で相談機関、関係団体の紹介を行うことで、専門相談機関や団体につながりました。</p> <p>全小中学校27校において総合的な学習の時間や社会科の時間で障がい者教育を実施しました。車いすに乗っての移動や目を隠しての移動を実際に行うことや、障がいのある方からのお話を聞く等体験活動を行った。さらに、調べ学習をとおして、障がい者やその家族、生活などの環境について理解が深まりました。</p> <p>特別支援コーディネーター研修会を2回実施。入間市各小・中学校より1名参加し、1回目はこども支援課の関係機関連絡会と合同開催でおこないました。子どもに関わる関係機関全体で講演を聞くことで障害福祉に係る地域支援の必要性の理解を深めました。2回目は特別支援コーディネーターと相談支援事業所職員で行いました。事例検討をすることで地域における切れ目のない支援に向けて関係を深めることができました。</p> <p>親支援講座を実施。障害に悩む保護者向け講座や進路について紹介する講座や入間わかき高等特別支援学校の見学・講演会等全4回を実施しました。(内3回は新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインによる非集合形式で行った。)各回30名程度の参加がありました。</p> <p>(2)地域イベントでの交流による相互理解の促進</p>	

公民館事業の夏休み人権映画会で「聲の形」「盲導犬クィールの一生」を開催しました。  
 (3)広報いるま、市公式ホームページ等による啓発  
 障害者週間事業を実施して、障害者への理解や障害者団体のPRができました。  
 手話のコーナーを奇数月に掲載しました。  
 市公式ホームページに手話動画を掲載しました。

施策10	福祉ボランティア活動を支援する
<p>◆令和4年度取組内容(結果)</p> <p>(1)ボランティアとボランティアを必要とする現場とを結びつける情報提供        サロン活動の支援、ボランティアの養成、移送サービス事業等のボランティアに関する活動を支援するため、福祉ボランティア活動の中核を担っている社会福祉協議会に対し、運営費の補助を行いました。</p> <p>(2)ボランティア育成のための併発の実施        市民活動センターを拠点として、市民活動、地域活動等の場の提供を年間通じて行いました。今後も「まちづくりサポートネット元気な入間」と連携して、福祉ボランティア活動に限らず、市民活動、地域活動のきっかけとなる場の提供を行いました。        各種のボランティア養成講習会を開催し、担い手の発掘・養成が図られました。</p> <p>(3)障がい者団体とボランティア団体との交流の場の提供        団体連絡会議を開催し、障がい者団体とボランティア団体との交流の場を提供しました。</p>	

重点課題(7) 障がい者スポーツ・文化活動を支援する

施策11	障がい者のスポーツ・文化活動を支援する
<p>◆令和4年度取組内容(結果)</p> <p>(1)障がい者の創作・文化活動の支援        いるま「太鼓」セッションでは、積極的な障がい者への文化活動の支援のため、参加団体に障がい者団体を迎え入れています。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、団体が参加を見送りました。        入間万燈まつりでは、祝い開き、万燈締めセレモニーと案内所に手話通訳者を配置し、障害者が楽しんで文化に触れ合える環境づくりに努めました。        元気な入間「障害者スポーツ大会」ポスター・プログラム用絵画作品展:47作品</p> <p>(2)障がい者スポーツ活動の促進        「障害者フライングディスク大会」は実施しましたが、元気な入間「障害者スポーツ大会」及び「障害者ボッチャ交流大会」については、新型コロナウイルスの感染状況が第7波に突入したことに伴い実施しませんでした。        障害者フライングディスク大会:参加者43人        埼玉県主催の「彩の国ふれあいピック」参加を呼びかけ、参加希望者のエントリー手続</p>	

きを行いました。

健康福祉センタートレーニング室の利用について、障害者手帳をお持ちの方は無料で利用いただきました。

障害者団体からの希望に応じて、スポーツ関連用品の貸し出しを行いました。

令和3・4年度継続事業の藤沢地区体育館改修工事及び4年度実施予定の黒須地区体育館改修工事において、障がい者の方も利用しやすい多目的トイレを新設しました。

## 重点課題(8) 移動等の円滑化の促進

施策12	だれもが安心して使いやすい施設とするために
◆令和4年度取組内容(結果)	
(1)公共施設等を整備する際の障がい者の意見を反映する機会の確保	
今年度は、信号機の新設はありませんでしたが、向陽台1丁目交差点における横断歩道に、視覚障がい者用のエスコートゾーンが設置されました。	
北口中央通り線の一部の歩道について、既設のマウントアップ形式の歩道をセミフラット形式に変更することで段差を緩和することができました。併せて、歩道幅員についても1.0mから3.5mへ拡幅整備を行い、車いすやベビーカーも安全に通行が出来るようになりました。	
藤沢北小学校校舎便所改修工事	
豊岡小学校外15校職員便所大便器改修工事	

## 基本方針5 権利擁護

### 重点課題(9) 権利擁護の推進

施策13	成年後見制度の周知と成年後見制度利用支援事業の推進
◆令和4年度取組内容(結果)	
(1)障がい者やその家族を対象とした成年後見制度についての講座の実施	
障害者基幹相談支援センターや社会福祉協議会と連携しながら講座を実施していく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、講座等の開催はありませんでした。	
(2)市民後見人養成講座の実施	
社会福祉協議会主催の市民後見人養成講座に基幹相談支援センター職員が講師協力し、市民後見人の養成に取り組むことができました。	
成年後見制度講演会(令和5年2月実施予定)	
市民後見人養成講座(実践編)	
13名受講(修了者11名・未修了者2名)	
法人後見事業(11月末現在)	
令和4年度 相談受付件数 46件(実数値)、新規受任件数 3件	
法人後見運営委員会 4回開催(予定)	
市民後見人(後見支援員)へのフォローアップ研修	

市民後見人(後見支援員) 6名受講

(3)法人後見事業の体制の充実

法人後見事業については、市民から法人後見を含む様々な相談に対応するとともに、運営委員会の受任調整を経て、後見等を受任することができました。また、市民後見人養成講座の修了者を後見支援員として活用し、体制の充実を図ることができました。

成年後見制度利用支援事業による申立件数は17件。

関係課や地域包括支援センター等との連携により利用促進は図られました。

(4)市民後見人研修等の支援体制の確立

市民後見人養成講座(実践編)については、昨年度に実施した市民後見人養成講座(基礎編)から引き続き実施し、担い手の育成に取り組むことができました。

社会福祉協議会主催の市民後見人養成講座に講師協力し、市民後見人の養成に取り組みました。

施策14	障がい者の権利をまもる
<p>◆令和4年度取組内容(結果)</p> <p>(1)市職員への研修等の実施 新規採用職員研修(中期)「人権問題」39名が受講しました。 また、研修科目「障害者の福祉」では、38名が受講しました。 新任課長対象「障害がある職員への合理的な配慮について」13名が受講しました。</p> <p>(2)障害者差別解消支援地域協議会の体制整備</p> <p>(3)障害者差別解消支援地域協議会の差別解消についての取組の推進 自立支援協議会の中で「差別解消法」について啓発を行いました。 また、生涯学習フェスティバルにオンラインで参加し、「合理的配慮」や「共生社会」について啓発を行いました。</p> <p>(4)障がい者虐待防止のための連携協力体制の強化 障がい者虐待に関する相談や通報等については、関係部署や基幹相談支援センター、相談支援事業所等と連携し、事実確認等早期に対応することで、被害者等の安全確保を図りました。</p> <p>(5)障がい者の権利をまもるための条例 入間市手話言語条例施策の推進に取り組みました。</p>	